

《伝播の抑制》

項目	適用開始日	内容	URL	閲覧日
モニタリング	1月2日	公衆衛生及び社会的緊急事態対応センター（CORRUS）における監視開始。	https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	4月6日 ～13日
	1月25日	地域圏保健庁（ARS）を通じた濃厚接触者の特定と追跡手続きを導入。	https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	4月6日 ～13日
	2月9日	オート＝サヴォワ県の自治体レ・コンタミヌ＝モンジョワ（Contamines-Montjoie）に、感染した子供が通っていた教育機関の生徒のスクリーニングを実施するための調査センター設置。	https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	4月6日 ～13日
	3月28日	PCR検査能力の増強を発表。	https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	4月6日 ～13日
	4月6日	高齢者や障害者を持つ人、介護するスタッフに対する大規模な検査オペレーションの開始。	https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	4月6日 ～13日
	4月13日	今後数週間、引き続きPCR検査数を増加。5/11には症状がある全ての人の検査が可能になる見通し。	https://www.elysee.fr/emmanuel-macron/2020/04/13/adresse-aux-francais-13-avril-2020	4月14日
	4月26日	外出制限措置の解除段階において、個人の健康状況を調査するためのツールとして政府が開発中のモバイルアプリ StopCovidの導入に向けて、フランスの「情報処理及び自由に関する国家委員会」（CNIL）から意見聴取を実施。CNILは個人情報保護等に関する見解を提示。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=F63C6E4A-6BC6-49EF-A164-604929EBC51F	4月27日
	4月28日	外出制限措置解除の戦略を首相が発表。 <基本方針> 検査：5/11以降、70万件の検査を国民健康保険の負担で実施。陽性反応が出た人に接触した人も追跡・特定して検査を実施 隔離：感染拡大を防ぐため、感染が確認された人の隔離を実施。ただし隔離は強制ではなく自主的な実施を依頼する形とする。具体的な隔離方針については、県の地方長官及び医療機関の関係者が今後特定するが、隔離は自宅あるいはホテルかの選択が可能となる予定。 感染者追跡アプリStopCovidはまだ実用化されず。	https://www.gouvernement.fr/partage/11518-discours-de-m-edouard-philippe-premier-ministre-presentation-de-la-strategie-nationale-de https://www.vie-publique.fr/en-bref/274198-strategie-nationale-de-deconfinement-presentee-lassemblee-nationale https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	5月7日
	6月2日	感染者追跡アプリStopCovidがGoogleやAppleのアプリストアからダウンロード可能に。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=43692C32-A5D4-4337-8F43-102987CFBC0A	6月3日
	7月21日	6月に導入した個人の健康状況調査アプリStopCovidについて、「情報処理及び自由に関する国家委員会」（CNIL）が個人情報保護の観点からおおむね問題なく運用されているとの結論を提示。CNILが提示した改善点を反映のうえ、政府は感染第2波に備えて、アプリのダウンロードを国民に呼びかける方針。現時点でダウンロード数は2万。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/le-gouvernement-se-felicite-des-conclusions-de-l-enquete-de-la-cnil-qui	7月27日
	8月14日	パリとブシュ・ド・ローヌ県が、ウイルス感染拡大リスクが高まっている地域として指定。人の多い閉鎖された空間では、3メートル間隔をとる、手を洗う、マスクを着用することを徹底。人混みやイベントは避ける、感染が疑われる場合はPCR検査を受ける、検査結果が出るまでは、自宅や外部から隔離するよう、対応を改めて提示。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/point-de-situation-covid-19-communique-de-presse-du-14-aout-2020	8月17日
	8月27日	国内での感染拡大、9月以降の学校再開に向けて首相が会見し、対策を発表。 <感染状況> フランスでは1日の感染者数が3,000人、10万人あたりの感染者数が39人（1カ月前から4倍）、PCR検査後の陽性率は3.7%（外出制限解除後の時点では1%）まで上昇。特に20代から30代の陽性率は6%近くと高水準。 地方ごとに感染状況に差があり、すでにウイルス感染拡大リスクが高まっているとされたパリとブシュ・ド・ローヌ県に加えて、19の県が同様にリスクが高まっている県として指定。（右の地図参照） <対策> * 閉鎖された公共の空間（交通機関、会議室、美術館、スーパーマーケット等）で複数の人がいる場合には、マスク着用を義務化 * あらゆる学校において、9月1日から教職員のマスク着用を義務付け。学生は中学生以上はマスク着用義務付け。学校で感染者が発生した場合には、当該生徒は隔離、接触者のリストをARSに提出し、接触者の検査実施。感染拡大状況に応じて、学校の一部あるいは全部の閉鎖の可能性も。 * マスク着用義務付け範囲の拡大により、貧困家庭へのマスク無料配布等の措置を10月に再実施の予定。 <ウイルス感染リスクが高い21県における対策> * 当該県の地方長官は、地方公共団体の長と協議のうえ、特に大都市において、閉鎖の如何に関わらず、全ての公共の場所でのマスク着用を義務付ける措置を講じることが可能に。（ブシュ・ド・ローヌ県のマルセイユ市ではあらゆる公共の場でのマスク着用義務化実施済み）⇒首相会見では、パリ市でも公共の場でのマスク着用について検討するよう首相が指示したことを明らかにしていたが、パリ市でも8月28日8時からマスク着用が義務化（出典2件目パリ市ウェブサイト） * 外出制限措置の解除後に、5,000人以上の集会の開催が可能とされていたが、これらの県では、その制限解除は撤回。 * 当該県の地方長官は、感染拡大状況に応じて、バーやレストランの営業時間を23時まで制限する措置を講じることが可能に（ブシュ・ド・ローヌ県では実施済み）	https://www.gouvernement.fr/partage/11708-discours-de-m-jean-castex-premier-ministres-lors-de-la-conference-de-presse-sur-la-covid-19 https://www.paris.fr/pages/le-port-du-masque-obligatoire-dans-certains-espaces-publics-parisiens-8161	8月28日
	8月28日	新型コロナウイルス感染拡大対応のための臨時支出による地方自治体の収支バランスが取れなくなっている状況で、新型コロナウイルス感染対策に係る支出に関して、例外的に複数年にわたって計上することを承認。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=E23070F1-795D-4135-8BF8-D40F8290C971	8月31日
	8月31日	スーパーやレストラン等に設置されたアルコール消毒液やジェルが誤って目に入るトラブルが複数発生（5月～8月にかけて63件）しており、子供がアルコール消毒液等で遊んで目に入れるようなことがないよう注意喚起。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/sha-projections-accidentelles-dans-les-yeux	9月7日
	9月7日	感染者追跡アプリStopCovidについて、GDPRへの適合性について、「情報処理及び自由に関する国家委員会」（CNIL）が問題ないと最終判断。アプリはすでに240万ダウンロード済み。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/stopcovid-cloture-mise-en-demeure-cnil	9月14日

新型コロナウイルス対応施策一覧：フランス

株式会社三菱総合研究所

項目	適用開始日	内容	URL	閲覧日
	9月11日	10万人あたりの感染者数が72人と、前週の57人から増加、PCR検査の陽性率も上昇しており、国内での感染状況が悪化しつつあるとして、首相が感染防止行動（手洗いやマスク着用）を徹底するよう注意喚起。フランスでは現在毎週100万件のPCR検査を実施しているが、それでも一部の都市では検査待ちが生じていることから、COVID-19感染症状が出ている人、感染者の濃厚接触者、医療機関や老人介護福祉施設等で働く医療関係者等を対象として優先的に検査を実施させる方針を発表。さらに首相は、以下の2つの施策を発表。 * 感染状況の追跡を強化するため、医療保険Assurance Maladieと地域圏保健庁（ARS）のスタッフを2,000名雇用 * 隔離期間を他人に感染させるリスクがある期間である7日間に変更 また首相は、ウイルス感染拡大リスクが高まった地域（レッドゾーン）を42県に引き上げ。これにより当該県の県地方長官は、公衆衛生当局や地元議員と連携し、感染拡大防止のため、マスク着用義務付け、集会の禁止、一部の商店の営業時間の変更等を対策について、各地域における状況や事情を踏まえて講じることができるようになる。（中央で決定したことを同じように各地で実施するのではなく、地域の実態に応じた対応が必要との立場）	https://www.gouvernement.fr/partage/11738-declaration-de-m-jean-castex-premier-ministre	9月14日
	9月13日	世界敗血症デーに際し、敗血症対策が新型コロナウイルス感染症対策にも役立ったことから、今後もフランスとして敗血症対策に取り組んでいく方針を確認。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/journee-mondiale-contre-le-sepsis-l-epidemie-de-covid-19-montre-la-necessite-de	9月23日
	9月14日	「情報処理及び自由に関する国家委員会」（CNIL）が新型コロナウイルス感染症に関するGDPRに照らした個人情報保護に関して、国内のPCR検査結果データを集約するプラットフォーム（SI-DEP）や感染者追跡アプリStop-Covidを通じた保健省による個人情報管理について、見解を発表。CNILは問題はないとの見解を示しているが、保健省は引き続き情報管理に留意しながらこれらアプリケーションの運用を行っていく方針。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/cnil-avis-public-conditions-de-mise-en-oeuvre-systemes-d-information-covid-19	9月23日
	9月18日	欧州委員会が仏サノフィ、英グラクソ・スミスクライン連合の開発するワクチンについて3億回分の供給契約を締結。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/l-union-europeenne-signe-avec-sanofi-gsk-un-contrat-de-precommande-de-vaccins	9月23日
入国者の隔離	1月25日	中国、香港、マカオから帰国したフランス人を受け入れる特別窓口を、パリ及び海外県の空港に設置。受け入れ対応は、セキュリティ担当の従業員が、空港の医療スタッフ及び厚生省の医療リザーブによって強化された医療スタッフと協力して実施。	https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	4月6日 ～13日
	1月30日	武漢に滞在した人の検疫・隔離用センターを南部ブーシュ＝デュ＝ローヌ県に開設。	https://www.legifrance.gouv.fr/affichTexte.do?cidTexte=JORFTEXT000041505448&dateTexte=20200305	4月6日 ～13日
	1月31日	湖北省に在住していたフランス人の第1回帰国。（帰国後14日間隔離）	https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	4月6日 ～13日
	2月2日	湖北省に在住していたフランス人の第2回帰国。（帰国後14日間隔離）	https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	4月6日 ～13日
	2月9日	湖北省に在住していたフランス人の第3回帰国。（帰国後14日間隔離）	https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	4月6日 ～13日
	2月20日	新たな検疫隔離センターを北部カルヴァドス県に設置することが決定。	https://www.legifrance.gouv.fr/affichTexte.do?cidTexte=JORFTEXT000041609982&categorieLien=id	4月6日 ～13日
	2月21日	湖北省に在住していたフランス人の第4回帰国。（帰国後14日間隔離）	https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	4月6日 ～13日
	5月25日	フランス国外から入国する人で、新型コロナウイルス感染の症状がある人は、14日間、自宅あるいはその他の宿泊施設で隔離する措置を導入。 5/25以降、国・地域別に14日間の自主的隔離措置を導入。 * EU域外からの入国は禁止。ただしフランス国民は除く。その場合、帰国後14日間の自主隔離を要請する。 * EU域内の移動は可能であるが、各加盟国による国境で規制が実施される。ただし、フランス国民やフランス在住者で、他国の国境付近で働いている者、家族都合や職業上の理由がある者については、規制は緩和される。フランス以外のEU域内国民からの入国者もフランスへの入国後、14日間の自主隔離を要請する。 ※ ただし、フランスから第3国に乗り継ぐ者、国際輸送に従事する者等で、感染症状がない者は、自主隔離措置は免除される。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/communique-restrictions-de-circulation-et-mise-en-place-de-mesures-sanitaires	5月25日
	8月1日	新型コロナウイルス感染拡大が深刻な16ヶ国（バーレーン、UAE、パナマ、米国、南アフリカ、アルジェリア、ブラジル、インド、イスラエル、クウェート、マダガスカル、オマーン、ベルー、カタール、セルビア、トルコ）からフランスに渡航する11歳以上の乗客は、飛行機への搭乗より72時間前に実施したPCR検査で陰性であるとの結果をフランスへの到着時に提示する、あるいは、搭乗時に検査を実施できていない乗客は、フランスへの到着時に検査を実施することを8月10日から義務付け。	https://www.ecologique-solaire.gouv.fr/renforcement-des-contrôles-sanitaires-aux-frontieres-bilan-premiere-journee-mise-en-place-du-nouveau	8月17日
入国制限	3月17日	シェンゲン協定加盟国（イタリア、スペイン等）との国境封鎖。	https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	4月6日 ～13日
出国制限	-	-	-	
施設使用制限	3月16日	保育園、小学校、中学校、高校、大学の閉鎖。	https://www.legifrance.gouv.fr/affichTexte.do?cidTexte=JORFTEXT000041722917&categorieLien=id	4月6日 ～13日
	4月13日	5/11まで外出禁止措置を延長。 5/11からは、幼稚園、学校、中学及び高校を段階的に再開していく方針を発表。ただし、大学等高等教育機関は夏まで再開せず。	https://www.elysee.fr/emmanuel-macron/2020/04/13/adresse-aux-francais-13-avril-2020	4月14日

新型コロナウイルス対応施策一覧：フランス

株式会社三菱総合研究所

項目	適用開始日	内容	URL	閲覧日
	4月28日	外出制限措置解除の戦略を首相が発表。 ●教育機関 幼稚園と小学校は、自主的な判断で5/11以降段階的に再開される。感染拡大が限定的な県では5/18以降中学校も再開可能である。高校は6月以降再開可能である。教室に収容可能な人数の上限は15人とし、ソーシャルディスタンス確保が難しい場合は全ての教職員はマスクを着用する。ただし幼稚園の児童のマスク着用は禁止する。小学校では、病気の兆候がある生徒向けの小児用マスクを準備する。中学校においては、生徒のマスク着用を義務付ける。託児所は在宅勤務が不可能な家庭の子供の受入ニーズなどを踏まえて決定される。託児所のスタッフはマスクを着用する。 ●外出 5/11以降、公園や庭園は、感染拡大が限定的な県では再開可能であるが、ビーチは6/1まで閉鎖。図書館、美術館は再開可能。 教会等における儀式は6月まで禁止であるが、墓地は5/11以降再開可能。公的・私的を問わず、集合は10人以下にとどめる。	https://www.gouvernement.fr/partage/11518-discours-de-m-edouard-philippe-premier-ministre-presentation-de-la-strategie-nationale-de https://www.vie-publique.fr/en-bref/274198-strategie-nationale-de-deconfinement-presentee-lassemblee-nationale https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	5月7日
	6月2日	首相が6/2以降の外出制限措置解除の第2フェーズについて説明。地域をゾーニングして施策を分類。 <学校> 全ての学校は、段階的に再開。どの学校も、少なくとも週の一部で生徒を必ず受け入れる。 グリーンゾーンでは、中学校の1年から4年まで受入可能。高校も全て再開。 オレンジゾーンでは、中学校の1年及び2年の生徒を段階的に受け入れ。資格取得を目指す職業高校は再開。一般高校及び技術高校は個人面談の実施に限って再開。 落ちこぼれた生徒の特定とフォローのためのキャンペーンを6/2に開始。	https://www.gouvernement.fr/partage/11590-presentation-de-la-conference-de-presse-de-m-edouard-philippe-sur-la-deuxieme-etape-du-plan-de	5月29日
	6月3日	全国家族手当公庫（CNAF）が部分的に再開した保育園向けに、外出制限措置下で講じられていた財政支援の継続を決定。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/modes-de-garde-face-a-la-crise-429514	6月4日
	6月14日	外出制限措置の解除方針を確認。 保育園、小学校、中学校は、6/22から全ての生徒を受け入れられるように準備。	https://www.elysee.fr/emmanuel-macron/2020/06/14/adresse-aux-francais-14-juin-2020	6月15日
	6月19日	6/22に再開される保育園やベビーシッター向けに感染拡大防止策を指示。マスクの着用は、子供の両親と保育士等、大人同士の会話の際に際してのみ勧告される。保育士等の職員は、マスク着用なしでも子供の世話をすることが可能となり、食事中や昼寝時のフィジカルディスタンス確保の措置も解除。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/deconfinement-des-modes-de-garde-creches-assistantes-maternelles-et-maisons-d	6月22日
	8月31日	公衆衛生高等評議会の見解に基づき、8月31日以降、幼児の受入施設における感染拡大防止策を変更。 * 異なるグループの幼児が混ざって遊ぶ等は問題なし * 新たな幼児の受入に際して、当該幼児の医療証明の提出は不要 * 幼児の受入施設において、親や職員等が室内で大人のみでいる場合にはマスクの着用は義務付けられるが、幼児がいる場ではマスク着用義務はなし * 地域圏保健庁（ARS）の権限を拡大し、幼児の保育所（creche）においてクラスターが発生した場合にとどまらず、その他の幼児受入施設において1件でも感染例が出た場合にも対応が可能に * 各施設の受入キャパシティが通常に戻りつつあることから、保育ママ（Assistante maternelle）による受入可能な幼児の人数を引き上げる例外措置を9月30日で終了	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/evolution-des-consignes-sanitaires-pour-les-modes-d-accueil-du-jeune-enfant-a	9月7日
営業・経済活動の制限 (強制力、罰則なし)	2月29日	密閉された空間での5,000人以上の集会を禁止。	https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	4月6日 ～13日
	3月8日	1,000人以上が集まる不要不急の集会の禁止。	https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	4月6日 ～13日
	3月14日	首相が100人以上の集会の禁止を発表。	https://www.legifrance.gouv.fr/affichTexte.do?cidTexte=JORFTEXT000041721916&categorieLien=id	4月6日 ～13日
	4月3日	国際イベント（例：ボルドーで開催予定だった仏－アフリカサミット等）の開催延期。	https://www.ecologique-solaire.gouv.fr/covid-19-gouvernement-salue-mobilisation-des-conducteurs-taxis-dans-cadre-crise-sanitaire	4月6日 ～13日
営業・経済活動の制限 (強制力、罰則あり)	3月15日	公衆が集まる場所（カフェ、レストラン、映画館、ディスコ）の閉鎖を決定。生活必需品以外を販売する商店も閉鎖対象。	https://www.gouvernement.fr/partage/11444-declaration-de-m-edouard-philippe-premier-ministre-sur-le-covid-19	4月6日 ～13日
	4月13日	5/11まで外出禁止措置を延長。 5/11からは、公衆衛生上の安全を確保したうえで、大半の人は仕事を再開可能な見通し。 レストラン、カフェ、ホテル、映画館、劇場、博物館等、公衆が集まる場所は5月11日以降も閉鎖。また、大勢が集まるフェスティバルやイベントは7月半ばまで開催禁止。	https://www.elysee.fr/emmanuel-macron/2020/04/13/adresse-aux-francais-13-avril-2020	4月14日
	4月24日	マスク用の布や糸等を販売する小売店の営業再開を認める政令が発給。	https://minefi.hosting.augere.com/Augure_Minefi/default.ashx?WC1=ContenuEnLigne&ID=8EC76EFD-93D9-4868-93B7-0A71136D683A	4月27日
	4月28日	外出制限措置解除の戦略を首相が発表。 ●職場 可能な場合はさらに3週間在宅勤務を継続する。難しい場合は時差出勤を奨励し、ソーシャルディスタンス確保できない場合は従業員はマスクを着用する。 ●商店等 カフェ及びレストランを除き、入店人数を制限する等の規則を守ったうえで、商店は5/11から再開可能。自治体の長や県の地方長官の異論がなければ市場の再開も可能。商店主は、マスクを着用しない顧客の入店を拒否できる。なお県地方長官は4万m ² 以上のショッピングセンターを再開しない判断を下すこともできる。5月末には、カフェ及びレストランを6月2日以降再開可能が判断する。 ●外出 5,000人超の人が集まるイベント等は9月まで禁止。教会等における儀式は6月まで禁止であるが、墓地は5/11以降再開可能。公的・私的を問わず、集合は10人以下にとどめる。	https://www.gouvernement.fr/partage/11518-discours-de-m-edouard-philippe-premier-ministre-presentation-de-la-strategie-nationale-de https://www.vie-publique.fr/en-bref/274198-strategie-nationale-de-deconfinement-presentee-lassemblee-nationale https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	5月7日

新型コロナウイルス対応施策一覧：フランス

株式会社三菱総合研究所

項目	適用開始日	内容	URL	閲覧日
	5月7日	外出制限措置緩和後の乳幼児を受け入れる託児所における対応方針を発表。感染防止策を講じつつ、10人単位のグループで乳幼児を受け入れる方針。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/covid-19-le-gouvernement-détaille-le-protocole-de-deconfinement-pour-l-accueil	5月8日
	6月2日	首相が6/2以降の外出制限措置解除の第2フェーズについて説明。地域をゾーニングして施策を分類。 <カフェ、レストラン> グリーンゾーンは再開。オレンジゾーンはテラス席のみ再開。 テーブル当たりの最大人数は10名とし、テーブル間は最低1メートル空ける。従業員はマスクを付け、客も移動時にはマスクを付ける。 <宿泊施設> グリーンゾーンでは、B&B、キャンプ場は再開。オレンジゾーンは6/22以降再開。 <公園、文化施設等> 公園や庭園は5/30以降再開。博物館・美術館、モニュメント、ビーチや湖は6/2に再開 <スポーツ施設> プール、ジム、劇場は、グリーンゾーンは6/2に、オレンジゾーンは6/22に再開。映画館は全ての地域で6/22に再開 6/21までは、以下のことは禁止。 公共の場所での10人以上の集会、ディスコ、ゲームセンター、チームスポーツ、対人コンタクトのあるスポーツ、スタジアムや競馬場の感染席	https://www.gouvernement.fr/partage/11590-presentation-de-la-conference-de-presse-de-m-edouard-philippe-sur-la-deuxieme-etape-du-plan-de	5月29日
	6月15日	外出制限措置の解除方針を確認。 6/15から海外を除く全国がグリーンゾーンに移行し、経済活動等再開。パリを中心とするイルドフランス県でもカフェやレストラン再開。	https://www.elysee.fr/emmanuel-macron/2020/06/14/adresse-aux-francais-14-juin-2020	6月15日
	6月17日	パリとフランス中部地方をつなぐ路線とパリとフランス南部をつなぐ路線において、運行が休止されていた夜行列車の運行が、夏のバカンスシーズンが始まる7/4-5の週末から再開。	https://www.ecologie-solidaire.gouv.fr/remise-en-circulation-des-trains-nuit-en-france-au-debut-lete	6月18日
	6月20日	海外を除いて感染拡大は収束傾向にあるが、感染拡大第2波の到来に備えて、国家安全保障会議（CDSN）が夏季における外出制限措置解除に関する追加的な方針を発表。 ◆6/22以降 ＊映画館、カジノ、ゲームセンターは感染防止策を講じたうえで再開 ＊集団でのスポーツは感染防止策を講じたうえで再開 ＊格闘技は禁止。再開の可否は9月までに見直し ＊職場等における感染防止措置に関しては、感染拡大措置を最新化・簡略化。 ・咳やくしゃみは肘で口を覆う等の感染拡大防止行動の遵守 ・公衆を受け入れる施設や公共交通機関においては11歳以上は必ずマスク着用 ・カフェ、レストラン、公衆を受け入れる施設、公共交通機関、学校においては、フィジカルディスタンス確保 ◆7/11の衛生上の緊急事態の解除以降 ＊海や河川のクルーズは再開予定。EU加盟国と協議のうえ、EU域内の港間でのクルーズも再開の可否を決定 ＊スタジアムや競馬場も再開。観客上限は5,000人とする。演劇場も含め、1,500人以上が集まる場合は、必要な感染防止措置が確実に講じられるよう、事前申請。スタジアム等の観客上限5,000人は、9月1日まで有効とするが、7月半ばに感染拡大状況の分析を行い、場合によっては8月以降の緩和も検討する ◆学校の夏休み明けの9月以降 ＊見本市や展示会などを開催する場所の再開。場合によっては、ディスコ、国際海洋クルーズも再開	https://www.gouvernement.fr/partage/11630-mesures-supplementaires-de-deconfinement-pour-la-période-estivale	6月22日
上記に関連する財政支援措置	3月2日	中小企業から要請された借り入れについて、公的投資銀行（Bpifrance）が信用保証付与。	https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	4月6日 ～13日
	3月25日	事業者向け貸付上限の引き上げ。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/cp-olivier-veran-et-gerald-darmanin-annoncent-l-augmentation-du-plafond-d	4月6日 ～13日
	3月26日	公衆衛生上の緊急時に対応するためのオールドナンスを閣議決定。 ・経済的影響が特に大きかった企業向けの連帯基金の創設 ・緊急事態下でも医療機関が最低限の収入を保証する措置 など	https://www.legifrance.gouv.fr/affichTexte.do?cidTexte=JORFTEXT000041755852&dateTexte=20200403 https://www.legifrance.gouv.fr/affichTexte.do?cidTexte=JORFTEXT000041755741&categorieLien=id	4月6日 ～13日
	4月2日	個人事業主である医療従事者が、以下のいずれかのケースに該当する場合、個人事業主の納税猶予措置に加えて、収入補償を実施。 -働いている企業(entreprise)が閉鎖されたことになった場合 -必要な物資等供給不足に直面した場合 -当該事業所で勤務するスタッフのテレワークや感染予防措置を講じることが不可能な場合	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/dispositifs-d-aides-publiques-ouverts-aux-professionnels-liberaux-de-sante	4月6日 ～13日
	4月9日	経済対策の総額を450億ユーロから1,000億ユーロに引き上げ。経済対策の内容は以下。 1. 社会保障費、税金の支払い延期 2. 特に状況が深刻な場合は、申請に基づき、個別に審査のうえ、税の還付 3. 困難に直面している小規模事業者向けに家賃、光熱費の支払い延期 4. 小規模事業者、個人事業主、弁護士等の自由業、零細企業向けに1,500ユーロを上限とした補助金を政府及び地域圏から支給 5. 資金調達が必要な企業の銀行借り入れに対して3,000億ユーロ信用保証を付与 6. 借り入れ返済期限の延期のため、政府とフランス中央銀行が当該銀行との交渉支援 7. 部分失業制度を簡略化・強化することにより、企業の雇用維持を支援 8. 顧客やサプライヤーとの争いについて、政府の調停官が調停支援 9. 政府及び地方自治体がCOVID19感染拡大を企業にとっての“(予知・予防が不可能な)天災、不可抗力(cas de force majeure)”であると認め、公共調達市場において、サービス供給等の遅延についても罰則は適用されない。	https://www.gouvernement.fr/info-coronavirushttps://www.economie.gouv.fr/coronavirus-soutien-entreprises#	4月6日 ～13日
	4月10日	企業の信用保険について、経済状況の悪化により、信用レベルの低下や信用付与の拒否に直面する場合に国が信用保証を付与する措置を開始。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=82FC631C-E365-4687-9CF3-8F60EFD16F6B	4月6日 ～13日

新型コロナウイルス対応施策一覧：フランス

株式会社三菱総合研究所

項目	適用開始日	内容	URL	閲覧日
	4月10日	仏政府の合意を得て、雇業者評議会（CPSTI）が、個人事業主向けの過年度納付済みの退職金拠出金分の還付。1社あたりの還付額は最大で1,250ユーロ、還付支援総額は10億ユーロ。政府はこの還付は非課税とする決定。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=042355D4-6DD6-488C-982E-E772DA2A7C0E	4月6日 ～13日
	4月17日	従業員10人未満の非常に小規模な事業者の家賃を3カ月免除。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=4542340E-4407-4F57-B5E2-6EA5568472A3	4月20日
	4月17日	トラック運転手へのエネルギー製品消費税（TICPE）の還付時期を半期に1度から四半期に1度に変更。12t以上のトラック等が課税対象となる車軸税（TSVR）の納付期限を9月1日から3カ月先送り。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=B388890E-2A38-458D-9AF4-0A6EC301BC57	4月20日
	4月24日	仏経済大臣とオランダ経済大臣が、緊急事態下におけるエールフランス・KLM航空救済に関する共同声明を発表。仏政府はエールフランスへの資金援助を行う方針を決定し、欧州委員会に通知済み。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=ACDBEC2A-66EB-4E9F-884F-F1EB1660A5E2	4月27日
	4月27日	経済的に困難な状況にある企業経営者を心理的サポートを行うための専用相談ダイヤルの設置。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=90436AA1-246F-4080-9E0B-5FBFF3946FA1	4月28日
	4月27日	小規模事業者、個人事業主、弁護士等の自由業、零細企業向けの補助金支給の第2段として、経済的に非常に困難な状況にある最低1人従業員を抱え、銀行借入を拒否された企業向けに、地域圏から最低2,000ユーロ、最大で5,000ユーロを支給が開始。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=454FCDE4-3883-43AC-969E-C528E7AE4E61	4月28日
	4月29日	新型コロナウイルスに感染した、あるいは外出制限措置によって子供の面倒を見なければならなくなり、農作業を行うことができず、代理の従業員を雇った農家に対し、その分の費用を補助することが4月15日のオールドナンスに規定されていたが、1日あたり112ユーロを上限として支給へ。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=28BFBCE6-3AB1-4C8B-8B2D-79033AB51B3D	5月7日
	5月12日	ワイン農家に対する経済支援策を発表。 * 財務的にもっとも苦境に陥っている小規模農家の社会保険料の納付免除 * 最大で1.4億ユーロの経済支援（詳細明示されず） * EUレベルでの補償措置をフランス政府として要請	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=37944324-0962-42A8-B711-F7B7DECE1CA	5月13日
	5月12日	漁船運行の免許の有効期限を11/24まで延長。漁業者向けに部分失業補償（額面給与の70%までの補償）。	https://www.ecologique-solidaire.gouv.fr/gouvernement-annonce-des-mesures-specifiques-soutenir-professionnels-du-transport-maritime-et-peche	5月13日
	5月14日	省庁間観光委員会を首相が開催し、5/25の週に、ホテル等観光業の再開方針について提示する予定であると発表。 フランスの重要産業である観光業への経済支援策を発表。 ・部分失業補償を2020年9月末まで継続 ・投資促進のため13億ユーロの基金を創設 ・レストラン営業再開後の福利厚生用食事券「Ticket Restaurant」の利用上限の引き上げ このほか、夏休みの外出先は国内にとどめるよう勧告	https://www.gouvernement.fr/partage/11570-cinquieme-comite-interministeriel-du-tourisme	5月15日
	5月29日	ワイン農家が販売できないワインを蒸留酒用に引き取る等、追加的な3,000万ユーロ規模の支援を実施。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=B5C86140-3AF0-47CD-BFAC-33BB006CE69E	6月1日
	6月5日	ホテル、レストラン、観光、イベント、スポーツ、文化、航空業界に対し、地方税である「事業所が使用する不動産評価額」を対象とする企業不動産負担金（CFE）の支払い期限（6/15）を12/15に延期。さらに、地方自治体がCFE額を2/3減免するかどうかを7月以降検討し、減免する自治体に対しては、国がこの減免に伴うコストの半分を負担するための予算措置を行う方針。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=F9E03C08-87F1-40A7-AA62-9A40465F7FE0	6月8日
	6月9日	出版社、書店など書籍のサプライチェーン向けの支援の継続を決定。この時点ですでに総額2.3億ユーロの支援を行っていたが、追加的に2,500万ユーロを支援。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=02EF7A4B-984E-486D-AB1A-DBBF68F55773	6月10日
	6月10日	ホテル、レストラン、観光業と同レベルで経済影響（-88%）を受けた建設業界向けの支援を強化。これまでも36万社向けに5.1億ユーロの資金支援と、総額82億ユーロ分の融資に関する政府保証を付与。国や地方が発注者である公共工事について、事業再開に伴い発生するコスト（工事中断に伴うコスト、作業現場での感染拡大措置を講じるためのコスト）の一部を負担する措置を追加。 さらに、従業員50人未満の企業で重大な経済インパクトを受けた企業については、3～5月までの社会保険料を半額免除。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=BABA3AA9-685D-4F40-BF1A-9DEE86FCAA19	6月11日
	6月10日	第1段階の外出制限措置の対象となっていないホテル、レストラン、カフェ、観光、イベント業界と、そのサプライヤー向けの経済支援策の強化。これらの業界については、部分失業にかかる費用は100%補償。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=B67D01FC-AB54-4216-A7AD-6EA6EDC769C9	6月11日
	6月11日	信用保険に係る債務について、政府が一時的に信用保証を与える措置を実施。第一段階としては中小企業の国内取引向けに実施するが、政府は追って大企業や国外取引にも対象を拡大する意向。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=EC12F4B9-C335-4258-A8C3-0076D232CD81	6月12日
	6月12日	レストラン営業再開後の福利厚生用食事券「Ticket Restaurant」の1日あたりの利用上限を19ユーロから38ユーロに引き上げ、日曜と祝日も利用可能に。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=61CD768B-402C-401A-A68C-0182967F1567	6月12日
	6月15日	特に観光、ホテル、レストラン業界の中小企業や個人事業主向けに、外出制限措置が解除された後も、売上規模が、感染拡大危機前の水準に達しない場合の経済支援を実施することを発表。 * 部分失業のコストの政府負担、社会保険費支払い猶予。観光業等は、3～6月の社会保険費免除も。 * 1,500ユーロの支援金に加え、観光業等については、地方からの支援も合わせて最大で10,000ユーロの支援。その他業界については5,000ユーロの支援 * 取引銀行に対し、国の債務保証付きの融資依頼が可能	https://www.elysee.fr/emmanuel-macron/2020/06/15/ertes-de-revenus-suite-au-covid-19-voici-comment-letat-vous-protége	6月18日

新型コロナウイルス対応施策一覧：フランス

株式会社三菱総合研究所

項目	適用開始日	内容	URL	閲覧日
	6月24日	外出制限措置により経済的に苦境に陥っている乗馬クラブとボニークラブ向けの経済支援の決定。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=F66D4A6A-AC4E-4CFA-90F7-F7A4D0031094	6月25日
	7月2日	新型コロナウイルス感染拡大により、資金難に陥っている社員数50～250人の企業をターゲットに、前貸金の支給あるいは低金利での融資を追加的に実施する方針を発表。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=EE3874F9-565B-44AA-9C7C-E52CD48AA3C1	7月6日
	7月9日	企業の手元資金確保支援のため、取引成立後、商品やサービスの納入や請求書の発行前に、当該取引の売上債権を買い取るファクタリングサービスを利用することを認める方針。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=1DDC8E84-75FC-42CF-88D3-562D78A1134C	7月13日
	7月15日	カステックス新首相が議会下院での政策方針演説において、コロナウイルス感染拡大による経済影響を受けた若者向け支援を講じる方針を発表。25歳以下の若者の雇用支援のための企業の雇用コストを1年間削減する措置、長期間仕事に就いていない若者向けの就業支援措置、経済的に苦しい大学生向けの食費支援を行う方針。これに加えて、9月には1,000億ユーロ規模の経済復興計画を打ち出す方針も発表。	https://www.gouvernement.fr/partage/11654-declaration-de-politique-generale-de-m-jean-castex-premier-ministre-assemblee-nationale	7月16日
	7月24日	外出制限措置解除後の移動量が少ない影響で、地域圏急行輸送（TER）が収入減に直面しているが、必要な鉄道インフラ投資に支障が出ないよう、政府が支援を検討する方針を発表。同様に、収入減に直面している空港運営会社の手元厳禁確保のため、返済を要する前払金（repayable advances）を総額3億ユーロ支出する形で改正予算法が成立したことを発表。	https://www.ecologique-solidaire.gouv.fr/travail-vice-presidents-transport-des-regions-relance-active-au-coeur-et-au-service-nos-territoires	7月27日
	7月27日	コロナ禍により経済的な悪影響を受けた鉄道運輸事業者の要請をうけて、鉄道利用料金を7月以降年末分までを免除。合計6,300万ユーロ分の鉄道使用料は国が負担。2021年1月以降は、鉄道利用料の半額を免除し、同じく6,300万ユーロを国が負担。	https://www.ecologique-solidaire.gouv.fr/gouvernement-annonce-des-mesures-durgence-soutenir-fret-ferroviaire	7月28日
	8月10日	5月に導入した観光業向けの経済支援策（部分失業補償の9月末までの継続、社会保障私費の支払い猶予等）について、支援対象業種を拡大。拡大されたのは、土産物店、アーケードや空港の小売店、通訳者、翻訳者等。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=B6CC3DA5-1F61-4260-B4C4-33F15254C387	8月17日
	8月17日	中小企業がコロナ感染拡大の緊急事態中（2020年3月～5月）に納税期限が来ていた税金（消費税等）を3年間にわたって分割して支払うことを認める措置を発表。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=773B68FE-1093-4BC9-AB54-AC2FA07EE1E7	8月18日
	9月4日	政府が発表した大規模な経済復興計画のうち、合計115億ユーロが交通分野に投資。このうち47億ユーロは、新型コロナウイルス感染拡大によって影響を受けたフランス国鉄（SNCF）による鉄道インフラ投資（線路、踏切、駅へのアクセシビリティ向上等）に。	https://www.ecologie.gouv.fr/france-relance-115-milliards-dedies-aux-transport	9月7日
	9月25日	一部地域における感染再拡大を受けて、集会等の制限措置が講じられていることにより影響を受けている従業員20人未満・売上規模200万ユーロ未満の中小企業向け支援を発表。例えば、22時までしか営業できないバーや、集会可能人数が1,000人以下に制限されることで影響を受ける活動に関して、売上が8割減となったことを証明できる事業者に対しては、10,000ユーロまで補償。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=D7ACB53E-2281-48E6-8A5E-3554D0CE5867	9月28日
個人の活動制限	2月29日	クラスターが確認された自治体において、不要不急の移動制限を推奨。その他地域においても不要な旅行を推奨しない。	https://www.elysee.fr/emmanuel-macron/2020/02/29/conseil-de-defense-et-conseil-des-ministres-du-29-fevrier-2020-consacres-au-coronavirus-covid-19	4月6日 ～13日
	3月17日	少なくとも15日間にわたって、全国的な外出禁止措置を実施。例外的に以下の場合には外出が認められるが、その場合、証明書の携帯が義務付け。 -テレワークが不可能な場合、自宅から職場への移動 -日常に必要な最低限の買い物認められた範囲の自宅近傍で行うための移動 -医師への面会 -子供や障がいを持つ人の付き添いのための外出。ただし手洗いや人との距離を保つなど感染防止策を講じることが必須 -自宅周辺で他人と集まることなく、個人的な運動を行うこと	https://www.elysee.fr/emmanuel-macron/2020/02/27/coronavirus-covid-19-des-gestes-simples-pour-preserver-votre-sante-et-celle-de-votre-entourage	4月6日 ～13日
	3月27日	原則外出禁止措置について、2週間延長して4/15までの実施する方針を公表。	https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	4月6日 ～13日
	4月13日	5/11まで外出禁止措置を延長。	https://www.elysee.fr/emmanuel-macron/2020/04/13/adresse-aux-francais-13-avril-2020	4月14日
	4月28日	外出制限措置解除の戦略を首相が発表。 <基本方針> 拡大防止：手洗い・咳やくしゃみをするときのマナー等の対応、ソーシャルディスタンスの確保、マスク着用 外出制限措置の解除は、その後の感染拡大状況を見つ段階的に実施される。5/7に解除された後、6月2日を第1フェーズとし、感染拡大に第2波の有無を見て、夏にかけて3段階で制限を解除していく方針。 ただし、外出制限措置解除は、ウイルス感染拡大状況、医療機関の受入能力の逼迫度、検査能力の3つの観点から5/7に特定されたグリーン地域においては、解除されるが、レッド地域に関しては、より厳格な規制のもとに外出制限が解除される。 ●外出 5/11以降、100kmを超える移動を除き、証明書の携帯なく外出は可能である。屋外でのスポーツは可能であるが、屋内スポーツ、集団でのスポーツ、対人接触があるスポーツは禁止である。公園や庭園は、感染拡大が限定的な県では再開可能であるが、ビーチは6/1まで閉鎖。図書館、美術館は再開可能。 5,000人超の人が集まるイベント等は9月まで禁止。教会等における儀式は6月まで禁止であるが、墓地は5/11以降再開可能。公的・私的を問わず、集会は10人以下にとどめる。 ●交通機関 車内の混雑を避けるため、運航数を増やすことも検討されるが、在宅勤務や時差出勤の奨励により、運航数の増加は限定的にとどめるべきである。なお地方間の交通は制限される。公共交通機関を利用する際にはマスク着用が必須。	https://www.gouvernement.fr/partage/11518-discours-de-m-edouard-philippe-premier-ministre-presentation-de-la-strategie-nationale-de https://www.vie-publique.fr/en-bref/274198-strategie-nationale-de-deconfinement-presentee-lassemblee-nationale https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	5月7日

新型コロナウイルス対応施策一覧：フランス

株式会社三菱総合研究所

項目	適用開始日	内容	URL	閲覧日
	5月10日	通勤、通学のピーク時間帯（6時半～9時半、16時～19時）の混雑緩和のため、5/11以降、公共交通機関は、以下の理由による利用に制限する。利用の際は証明書を携帯。 ①時差通勤ができない仕事のための移動 ②自宅から学校教育機関への本人及び付き添い者の移動や試験受験のための移動 ③オンラインでの診察や、自宅近くでの診察ができない特別な診察や治療を受けるための移動 ④脆弱な人の解除や子供の世話等家族関連で必須の移動、⑤警察や裁判所に出席するための移動 ⑥裁判所による呼び出しによる移動 ⑦若者の国への奉仕活動（MIG）に参加するための移動	https://www.ecologique-solaire.gouv.fr/reduire-laffluence-et-viser-mieux-protection-sanitaire-possible-des-salaries-et-des-scolaires	5月11日
	5月14日	外出制限措置解除後、自転車を利用する人が増え、自転車の修理工の人材ニーズが増加することを見込んで、自転車修理工養成学校を設立する方針を発表。	https://www.ecologique-solaire.gouv.fr/deconfinement-elisabeth-borne-lance-academie-des-metiers-du-velo-notamment-former-des-mecaniciens-en-0	5月15日
	6月2日	首相が6/2以降の外出制限措置解除の第2フェーズについて説明。地域をゾーニングして施策を分類。 <移動> 移動距離上限を100kmとする措置は解除。ただし6/15までは移動はフランス国内に限る。	https://www.gouvernement.fr/partage/11590-presentation-de-la-conference-de-presse-de-m-edouard-philippe-sur-la-deuxieme-etape-du-plan-de	5月29日
	6月15日	外出制限措置の解除方針を確認。 6/15から、EU域内の移動が可能。7/1以降はEU外（コロナ感染拡大が抑制されている国）への移動も可能。	https://www.elysee.fr/emmanuel-macron/2020/06/14/adresse-aux-francais-14-juin-2020	6月15日
	8月27日	国内での感染拡大、9月以降の学校再開に向けて首相が会見し、対策を発表。 <感染状況> フランスでは1日の感染者数が3,000人、10万人あたりの感染者数が39人（1カ月前から4倍）、PCR検査後の陽性率は3.7%（外出制限解除直後の時点では1%）まで上昇。特に20代から30代の陽性率は6%近くと高水準。 地方ごとに感染状況に差があり、すでにウイルス感染拡大リスクが高まっているとされたパリとブシュド・ロヌ県に加えて、19の県が同様にリスクが高まっている県として指定。（右の地図参照） <対策> * 閉鎖された公共の空間（交通機関、会議室、美術館、スーパーマーケット等）で複数の人がいる場合には、マスク着用を義務化 * あらゆる学校において、9月1日から教職員のマスク着用を義務付け。学生は中学生以上はマスク着用義務付け。学校で感染者が発生した場合には、当該生徒は隔離、接触者のリストをARSに提出し、接触者の検査実施。感染拡大状況に応じて、学校の一部あるいは全部の閉鎖の可能性も。 * マスク着用義務付け範囲の拡大により、貧困家庭へのマスク無料配布等の措置を10月に再実施の予定。 <ウイルス感染リスクが高い21県における対策> * 当該県の地方長官は、地方公共団体の長と協議のうえ、特に大都市において、閉鎖の如何に関わらず、全ての公共の場でのマスク着用を義務付ける措置を講じることが可能に。（ブシュド・ロヌ県のマルセイユ市ではあらゆる公共の場でのマスク着用義務化実施済み）⇒首相会見では、パリ市でも公共の場でのマスク着用について検討するよう首相が指示したことを明らかにしていたが、パリ市でも8月28日8時からマスク着用が義務化（出典2件目パリ市ウェブサイト） * 外出制限措置の解除後に、5,000人以上の集会の開催が可能とされていたが、これらの県では、その制限解除は撤回。 * 当該県の地方長官は、感染拡大状況に応じて、バーやレストランの営業時間を23時まで制限する措置を講じることが可能に（ブシュド・ロヌ県では実施済み）	https://www.gouvernement.fr/partage/11708-discours-de-m-jean-castex-premier-ministres-lors-de-la-conference-de-presse-sur-la-covid-19 https://www.paris.fr/pages/le-port-du-masque-obligatoire-dans-certains-espaces-publics-parisiens-8161	8月28日
	9月1日	感染によるリスクが高い人（進行性のがん患者、先天性あるいは後天性の免疫障害を持つ者、65歳以上の高齢者で糖尿病患者等）を保護するため、感染拡大危機の当初から導入されてきた、これらのリスクが高い人及びリスクが高い人と同居する人の部分失業や業務の停止措置を解除。ただしマスク着用や手洗いの徹底等の感染防止策を講じることが条件。また職場復帰も、可能であれば在宅勤務が推奨される。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/repense-de-l-activite-des-travailleurs-a-risque-de-formes-graves-de-covid-19	9月7日
上記に関連する財政支援措置	3月12日	自宅待機を求められ、賃金を満額もらえない労働者に対し、国の負担で補償措置を実施。	https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	4月6日 ～13日
	3月25日	社会保障費支払い猶予。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/cp-olivier-veran-et-gerald-darmanin-annoncent-l-augmentation-du-plafond-d	4月6日 ～13日
	4月15日	生活保護受給世帯に対し、1世帯あたり150ユーロを支給し、扶養する子供1人につき100ユーロを支給。生活保護受給世帯でなくとも、所得が低く、個別住宅支援を受けている世帯についても、不要する子供1人につき100ユーロを支給。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/covid-19-le-gouvernement-annonce-le-versement-d-une-aide-exceptionnelle-de	4月20日
	4月23日	ホームレスや非常に貧しい家庭向けの食費支援として総額5,000万ユーロを支給。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/covid-19-le-gouvernement-mobilise-plus-de-50-millions-d-euros-pour-l-aide	4月24日
	4月29日	新型コロナウイルス危機による部分失業の補償期間を6月1日まで延長。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/communiqué-de-presse-olivier-veran-et-gerald-darmanin-29-avril-2020	5月7日
	4月30日	外出禁止措置解除後に、移動手段として自転車の活用を促進するために、個人の自転車の修理費用の補助（修理1件あたり50ユーロ上限）や、駐輪場の設置、自転車専用道の整備等に、総額2,000万ユーロを拠出。	https://www.ecologique-solaire.gouv.fr/sortie-du-confinement-ministere-transition-ecologique-et-solaire-annonce-plan-20-millions-deuros	5月7日
	5月4日	5月に支払い期限のくる社会保障費の支払い期限の再度延期。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=B3E96E59-8622-4892-B578-C9498958EE79	5月7日
	5月6日	老人の孤立を防ぐための専用ダイヤルやウェブサイトの設置の設置。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/le-ministere-des-solidarites-et-de-la-sante-renforce-la-lutte-contre-l	5月8日
	6月2日	6/1～6/15が支払期限の社会保障費について、申請すれば期限を延期。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=7527227F-7F00-40D8-BBBD-C73ACCFE38E3	6月3日

新型コロナウイルス対応施策一覧：フランス

株式会社三菱総合研究所

項目	適用開始日	内容	URL	閲覧日
	6月5日	外出制限期間中働けなかった従業員向けの給与補償措置を6月も継続。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=C0E06768-0622-4CAA-A249-DA45EE3EE8A8	6月8日
	7月3日	新型コロナウイルス感染拡大が深刻な海外県において、給食手当の支給を7月いっぱいまで継続。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/covid-19-renouvellement-du-dispositif-de-soutien-aux-familles-des-departements	7月6日
	7月9日	公衆衛生上の緊急事態が終了することに伴い、家賃が未払いでも立ち退きを求められることがない猶予期間 (trêve hivernale) も終了するが、家賃が払えず退去せざるをえない人の転居先確保、転居先が確保できない場合は、宿泊先を確保するなどの支援措置を講じる方針。転居先や宿泊先が確保できなかった場合には、新型コロナウイルス感染拡大の緊急事態期間中に設置された宿泊施設を維持。	https://www.ecologie-solaire.gouv.fr/fin-treuve-hivernale-gouvernement-reaffirme-volonte-dagir-en-faveur-des-plus-precaires	7月13日
	8月4日	低所得家庭の児童・生徒の新学期手当 (ARS) を、1人あたり100ユーロ増額。支給開始は8/4から。ARS額は、6～10歳：467ユーロ、11～14歳：490ユーロ、15～18歳：504ユーロ	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/l-allocation-de-rentree-scolaire-exceptionnellement-majoree	7月30日
	8月28日	コロナ対策で確保したホームレス向けの住宅14,000戸を2021にかけて継続的に確保。ホームレスの受入にあたる団体向けに、5,000万枚のマスクを支給。受け入れたホームレスの生活の質向上のため、1,000万ユーロを拠出。	https://www.ecologie.gouv.fr/crise-sanitaire-et-hebergement-des-personnes-sans-abri-emmanuelle-wargon-presente-mesures-durgence	8月31日
	9月9日	保育園や学校等が休校となる、あるいは子供が感染者の濃厚接触者となって外出できないために、子供を預けられず働けない親向けの補償措置を9月1日の夏休み終了以降再開。親の申請により、休んだ分の給与を部分失業等の形で補償。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/covid-19-le-gouvernement-s-engage-pour-apporter-des-solutions-aux-parents-qui	9月14日
	9月17日	部分失業の不正支給が総額2.25億ユーロ発生。このうち半分は、支給停止・回収。部分失業申請の事前審査期間の延長等、不正支給防止措置を強化する方針。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=3A038D38-C2DE-4759-A905-C74624F4B5CA	9月18日

《医療提供体制》

項目	適用開始日	内容	URL	閲覧日
隔離施設・体制の準備	1月30日	武漢に滞在した人の検疫・隔離用センターを、南部ブーシュ＝デュ＝ローヌ県に開設。	https://www.legifrance.gouv.fr/affichTexte.do?cidTexte=JORFTEXT000041505448&dateTexte=20200305	4月6日～13日
	6月16日	介護老人福祉施設 (EHPAD) での感染拡大が収まっていることを受けて、家族等の訪問受け入れなど、段階的に施設の通常運用に戻す計画を6月22日までに立案するように指示。計画では、以下のような内容について、通常運用に戻す計画を検討する。 - 個人あるいは集団での外出や施設内での社会福祉活動の再開 - 自室からの外出制限の終了 - パラメディカルによる医療行為の再開 - 家族等の施設への宿泊や日中の自由な訪問の再開	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/communique-de-presse-ehpad-16-juin-2020	6月18日
医療物資の供給体制	2月24日	医療関係者向けの数百万の防護マスク (FFP2タイプ) の発注。	https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	4月6日～13日
	3月14日	ウイルス感染が特に拡大している県における病院や医療福祉施設における、医療従事者や軽症患者の対応にあたる市内の医者等に対して、優先的にマスクを供給。	https://www.gouvernement.fr/conseil-des-ministres/2020-03-18/le-covid-19	4月6日～13日
	3月21日	厚生省、25億枚のマスクの発注契約に調印し、医療従事者と脆弱な患者向けに段階的に供給されることを発表。	https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	4月6日～13日
	3月24日	防護用のマスクを優先的に配布する対象を都市部の総合医、看護師、薬剤師に拡大。(本措置の前は都市部の医療従事者、社会福祉施設の従業員、患者等を搬送する車両の運転手が対象)	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/covid-19-strategie-de-gestion-et-d-utilisation-des-masques-de-protection	4月6日～13日
	3月28日	10億枚のマスクの発注。	https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	4月6日～13日
	3月31日	総額40億ユーロを医薬品や医療機器の調達に投じる方針を説明。	https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	4月6日～13日
	4月7日	仏国内の繊維業界の協力により、3/30～4/5にかけて布マスク約400万枚を製造したことを公表。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=CAD91173-8DE9-4A9B-B9C6-97CC2FAE5CE9	4月6日～13日
	4月13日	5/11以降、一般向けのマスク供給開始。自治体の長を通じて、国民1人あたり1枚のマスクを配布する予定。	https://www.elysee.fr/emmanuel-macron/2020/04/13/adresse-aux-francais-13-avril-2020	4月14日
	4月20日	中小企業、非常に小規模な事業者向けに、マスク購入専用インターネットサイト“click & collect”を開設。	https://www.ecologie-solaire.gouv.fr/covid-19-jean-baptiste-djebbari-et-agnes-pannier-runacher-saluent-lancement-du-dispositif-vente-et	4月21日
	4月28日	FFP2マスクとサージカルマスクの製造能力強化策により、400万枚以下だった製造能力は1,000万枚まで増加。製造能力をさらに強化するため、マスクに使用するフィルター材料製造に関する関心募集を開始。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=AA1BC6D2-7027-4CF5-9349-C4384D366557	5月7日
4月29日	カルフルーやAuchan等の大規模スーパーにおいて、外出制限措置解除後に国民が着用を求められるマスクの販売を5/4から開始へ。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=AFF47A76-6B67-4887-8F0E-B066E76B1A	5月7日	

新型コロナウイルス対応施策一覧：フランス

株式会社三菱総合研究所

項目	適用開始日	内容	URL	閲覧日
	4月30日	外出制限措置解除後に着用するマスクの中小企業向け配布を強化するため、合計1,000万枚確保。これらのマスクは洗って繰り返し使用が可能であり、2億枚の使い捨てマスクに匹敵。 フランス郵便と協力し、注文用の専用サイトmasques-pme.laposte.frを開発し、従業員数10～49の企業は5月2日から、10人未満の企業は5月4日から注文が可能。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=2EE81E18-ADF6-4ACA-9D31-4F6BC54D1588	5月7日
	5月19日	国内でのマスク製造能力強化の状況について報告。既存の事業者だけでなく、新規事業者も参入し、2020年末までに10億枚の製造能力を確保できる見通し。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/communiqué-de-presse-commande-masques-sanitaires-19-mai-2020	5月20日
	5月19日	中小企業向けマスク発注サイトmasques-pme.laposte.frから発注可能な中小企業の対象が、従業員数50～249人の企業に拡大。	https://minefi.hosting.augure.com/Augure_Minefi/default.ashx?WCI=ContenuEnLigne&ID=E5670B8E-CB67-4EA5-8933-7E5A6CAD57EA	5月20日
	7月29日	820万人の低所得者向けに、20回洗って使えるマスクを1人あたり6枚、郵便で配布。郵送は7/29から順次実施。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/distribution-massive-de-masques-publics-precaires-la-poste	7月30日
病床の拡充	2月24日	各県の救急拠点70カ所に、新たな医療機関設置を発表。合計で107カ所の病院が感染者の受入が可能に。	https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	4月6日～13日
	3月14日	軽症患者は病院ではなく、まず市内の医師が対応する方針に転換。	https://www.gouvernement.fr/conseil-des-ministres/2020-03-18/le-covid-19	4月6日～13日
	3月28日	蘇生装置を備えた病床数を増加させることを発表。（これにより14,000床まで増加予定）	https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	4月6日～13日
	4月22日	医療機関に対する総額約10億ユーロの追加的な財政支援措置を発表。 もっとも感染拡大している地域の医療機関の財政を圧迫しているコロナ対応のための支出をカバーするために、総額3.8億ユーロを拠出。 特に財政状況が厳しい医療機関向けには4億ユーロを拠出。 感染者の短期滞在を受け入れた精神科専門医療機関やリハビリ施設に対し、1.8億ユーロを拠出。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/recettes-supplementaires-ou-anticipées-aux-etablissements-de-sante	4月23日
	4月23日	政府が発注した人工呼吸器1万器に関するプレス。発注した人工呼吸器に不具合があるとの報道をうけて、もともと国内に存在していた人工呼吸器は5,000で、追加発注後、6月には国内の人工呼吸器数は15,000器に。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/commande-de-10-000-respirateurs	4月24日
緊急性の低い診療等の抑制	3月12日	フランス国内の病院やクリニックにおける、緊急ではない医療活動は延期する決定。	https://www.gouvernement.fr/conseil-des-ministres/2020-03-18/le-covid-19	4月6日～13日
	4月23日	新型コロナウイルス感染症対策のために、緊急性の高くない治療や手術は先送りされているが、先送り措置を継続しつつも、慢性疾患を持つ患者等が適切な治療を受けられるよう、地域ごとに地域圏保健庁（ARS）の監督のもと、遠隔診療なども活用して診察や検査を実施していく方針。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/covid-19-les-patients-incités-a-consulter-leur-medecin	4月24日
	4月28日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のために医療行為を中断し、収入が減少した個人の医療従事者向けに、固定費分の補助金を支給。4月30日以降申請が可能で、5月初めから支給開始。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/communiqué-de-presse-professionnels-de-sante-liberaux-29-avril-2020	5月7日
	5月6日	新型コロナウイルス感染症以外で病院等における治療が必要な人が、外出制限以降、治療を先送りするケースが多数報告されていることから（専門医による診察が約50%減）、必要な場合には適切な治療を受けるよう勧告。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/covid-19-et-continuité-des-soins-continuer-de-se-soigner-un-imperatif-de-sante	5月8日
	5月29日	外出制限措置により、通常の通院や治療ができなかった患者の、治療先送りによる影響の評価と、症状に応じた外出制限解除後に取るべき措置に関する助言キャンペーンを開始。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/communiqué-de-presse-consultation-bilan-et-vigilance-ajout-cotation-29-mai-2020	6月1日
	6月30日	コロナ感染拡大防止のための外出自粛等の影響により、新三種混合ワクチンの接種率が前年比で低下。特に感染拡大が深刻だった県で低下率が大きい。親や医療関係者に対し、接種遅れをキャッチアップするよう注意喚起。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/ne-retardons-pas-la-vaccination-des-enfants-parents-et-professionnels-restez	7月2日
	6月30日	コロナ感染拡大防止のための外出自粛等の影響により、新三種混合ワクチンの接種率が前年比で低下。特に感染拡大が深刻だった県で低下率が大きい。親や医療関係者に対し、接種遅れをキャッチアップするよう注意喚起。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/ne-retardons-pas-la-vaccination-des-enfants-parents-et-professionnels-restez	7月2日
医療スタッフの拡充	3月14日	医師、看護師、医学生、比較的若い医療関係の退職者の動員。	https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	4月6日～13日
	3月24日	福祉施設及び医療福祉施設のスタッフリザーブ構築のため、4万人の学生の動員を発表。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/covid-19-mobilisation-des-etudiants-en-travail-social	4月6日～13日
	3月27日	医療従事者向けに自宅から医療機関への移動手段確保のため、タクシー業界を動員。 対象となる医療関係者は、日次、週次で多くの業務に対応している、緊急時対応部隊に関係している、自宅から離れた医療機関で働いており、個人あるいは公的交通手段を持たない者。治療にあたる医療分野の学生もこの措置の適用を受ける。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/covid-19-le-gouvernement-facilite-les-conditions-de-transport-des	4月6日～13日
	3月31日	厚生省がCOVID19感染に対応する医療体制（health reserve）強化のため、現役、失業中あるいは退職した医療関係者に厚生省サイトから登録を呼びかけたところ、医療リザーブ人数が21,000人から40,000人に増加したことを発表。 これらの医療関係者は、保健庁（ARS）の呼びかけに応じて、当該地域圏における医療体制をバックアップする、あるいは厚生省の呼びかけに応じて、特に感染が拡大している他の地域圏における医療体制のバックアップを行う。	https://www.gouvernement.fr/la-reserve-sanitaire-pour-aider-dans-la-lutte-contre-le-covid-19	4月6日～13日
	4月15日	政府が5月以降、病院の医療従事者向けの特別ボーナスを支給することを発表。 - 特に感染拡大している約30の県の病院で働いているあらゆる医療従事者（職種や職位問わず）には、1,500ユーロを支給 - その他の県の病院に関しては、108の病院のコロナ感染患者対応専門部門で働いた医療従事者向けに1,500ユーロ、その他の部門の医療従事者には500ユーロを支給	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/prime-soignants	4月16日

新型コロナウイルス対応施策一覧：フランス

株式会社三菱総合研究所

項目	適用開始日	内容	URL	閲覧日
	4月18日	カリブ海のフランス領土のコロナ対策支援のため、軍事省の水陸両用ヘリコプター（PHA）が派遣。4/17に現地に到着。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/operation-resilience-arrivee-du-porte-helicopteres-amphibie-pha-dixmude-auport	4月20日
	5月8日	医療福祉施設の職員向けに総額約7億ユーロのボーナス支給へ。 感染拡大が深刻だった33の県の施設の職員には1,500ユーロ、その他の県の職員に対しては1,000ユーロを支給。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/versement-d-une-prime-exceptionnelle-aux-professionnels-des-secteurs-sociaux-et	5月8日
	5月11日	老人介護福祉施設の職員向けに、総額約4.5億ユーロのボーナス支給へ。 感染拡大が深刻だった33の県の施設の職員には1,500ユーロ、その他の県の職員に対しては1,000ユーロを支給。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/communique-de-presse-soutien-secteur-grand-age-11-mai-2020	5月12日
	6月30日	医療従事者で新型コロナウイルスに感染した人の労災認定基準を新たに作成へ。認定された者は、治療にかかったコストを100%社会保険が負担し、労働できなかった期間の収入も補償。ただしこれらの支出を雇用主が全て負担することのないよう、全雇用者の労災保険の積立から拠出。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/reconnaissance-en-maladie-professionnelle-des-travailleurs-atteints-du-covid-19	7月2日
	8月4日	医療従事者へのボーナス支給を、家事援助支援員に対しても拡大するため、ボーナスを支給する県に対して財源となる資金を政府が供給。政府の支援総額は8,000万ユーロ。	https://solidarites-sante.gouv.fr/actualites/presse/communiqués-de-presse/article/engagement-de-l-etat-aupres-des-conseils-departementaux-pour-reconnaitre-a	8月17日
重傷者向けトリアージ	3月18日	フランス東部ミュールーズから、重症患者用の長距離（医療）避難用蘇生装置（MORPHEE）を配備した空軍のA330機により、6人の患者の搬送。（搬送先は南仏LaveraとSainte Anne）	https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	4月6日 ～13日
	3月20日	コルシカ島にいた重症患者の本土医療機関への搬送のため、海軍のミストラル級強襲揚陸艦とネール（Tonnerre）の動員。	https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	4月6日 ～13日
	3月21日	ミュールーズからの重症患者用の長距離（医療）避難用蘇生装置（MORPHEE）を配備した空軍のA330機による6人の患者の第2回搬送実施。（搬送先はボルドー）	https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	4月6日 ～13日
	3月22日	コルシカ島の12人の患者が、海軍のトネルでブーシュ＝デュ＝ローヌ県の病院に搬送。 東部地域の22人の人工呼吸器をつけた入院患者が、フランス国境周辺のドイツ、スイス、ルクセンブルクの医療機関に移送へ。	https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	4月6日 ～13日
	3月24日	ミュールーズからの重症患者用の長距離（医療）避難用蘇生装置（MORPHEE）を配備した空軍のA330機による6人の患者の第3回搬送実施。（搬送先は北西部プレスト）	https://www.gouvernement.fr/info-coronavirus	4月6日 ～13日
病床の拡充（野戦病院等の緊急措置）	3月24日	感染拡大が深刻な東部地域ミュールーズの病院に、陸軍保健局（SSA）とシャントーの陸軍医療連隊（RMED）が派遣され、駐車場に仮設の野戦病院（EMR）を設置。	https://www.defense.gouv.fr/actualites/articles/covid-19-premier-patient-pris-en-charge-par-l-element-militaire-de-reanimation	4月6日 ～13日
	4月18日	3月24日以降ミュールーズで導入していた軍事省の人工呼吸器付きベッド30床のうち、現在使用していない10床をいったん消毒・片付け。医療機関からの要請があれば再度使用は可能。	https://www.defense.gouv.fr/actualites/articles/operation-resilience-a-mulhouse-le-format-de-l-element-militaire-de-reanimation-du-service-de-sante-des-armees-emr-ssa-readapte	4月20日

出所：当該国の中央省庁等の事務連絡・プレスリリース等を基に三菱総合研究所作成、各内容の出所はURL参照